



桃園ランニングコース構想 《愛称：ピーチラン》展開編



緑空間の満喫
跡地再開発によって誕生する都市計画公園、大学
キャンパスの緑の取り込み



花と緑、一里の回廊
・デッキのバルコニー部に桃の花を植栽
・地元活動と連携、8代将軍吉宗の代の桃園復活
併せて「我が家にも桃の木を1本運動」を展開
・紅葉山公園の豊かな緑を借景
・桃園緑道との連携を検討

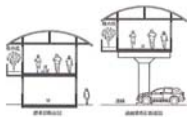
ウェルネスライン(中野駅からの主軸動線)
2F: 歩行者用ベデストリアンデッキ
3F: ランナー用アプローチ
民間活力を活かす関連起業支援
・スポーツウェア、グッズ開発販売
・スポーツファッション文化の発信
・医療、メディカルチェック、アドバイス
・健康食品、サプリ、飲料開発販売
・国内外マラソン大会の旅行代理店

スポーツ拠点(新中野体育館)
周囲4kmコースのスタート地点広場
・ジョガー仲間ネットワーク構築
・練習メニューなどのアドバイス
・トイレ、シャワー、更衣室、洗面所
・体育館利用の各種スポーツサークル活動
者も手軽にコース利用

デッキ1Fは桃園長屋の「界隈」づくり
・2丁目はスポーツクラブ長屋
・3丁目は演劇長屋
・4丁目は園芸長屋
・5丁目は漫画アニメ長屋(新トキワ荘)

桃園ランニングコース 愛称：ピーチラン

ランニングコース…デッキ2F又は3F
・信号がなく連続して走れる安全コース
・左レーンはゆっくり用、右レーンは追い抜き用で、一方通行
・足の衝撃を和らげるゴムチップ舗装
・100m距離標プレートに5節句24節句等を表示、忘れかけた季節文化を再認識
・スタート地点…「桃の節句」広場
・トイレ、洗面所、休憩所を適宜配置
・屋根緑化、天窓自然採光、自然通風
・乗降階段、エレベーターを適宜配置
・防犯灯、カメラなど防犯システム整備
・1Fへの衝撃を消す消振設計の開発
・床発電(歩行発電)の研究開発
・1kmラップタイムの記録配信システム



《ライフスタイルの空想》

- ・区役所で働く公務員Aは昼休み12時の時間帯でウェアに着替えてコースを1周。25分で戻り再び着替えて、昼食をそそくさと済ませて1時にぎりぎりセーフ。
- ・中年サラリーマンBは仕事帰りの一杯の代わりにゆっくり1周。ラン後の脈拍数と消費カロリーをチェック。シャワーを浴びる。健康ドリンクバーで100%ピーチジュースを飲み干し、整体師に腰の具合を診てもらい中野駅から家路に向かう。
- ・九州出身の独身サラリーマンCは残業を終え中野駅で電車を降り、着替えたスーツを貸ロッカーに預ける。ラン後に併席の銭湯で汗を流し、旅行代理店で今度のマラソン大会の宿泊を予約。行きつけの食堂でヘルシー定食大盛をたிரらけて帰宅。
- ・4丁目に開設した大学の学生Dは所属するカバディのクラブ活動で、グラウンド代わりに週2回メニューのピーチランをこなした。
- ・新中野体育館を拠点利用するバレーボールサークル所属の主婦Eは、今日はメンバーが振わないので自主練習でピーチラン。おなが空いたので人気店のかぼちゃスイーツを買って帰った。
- ・走るなんて興味のない独身OのFは、3月の休日昼下がりには桃の花がきれいだからと友達に誘われ、ししぶピーチランウォークに付き合った。おしゃべりと帰りの買い物のほうが楽しかった。
- ・みんな忙しいながらも、こんなライフスタイルが気に入っている。